

# 森本敏氏 来たる!

防衛大臣を経験した教授が  
語る 日本の現状  
何時聴くの? 今でしょ!

日時 2014年1月23日(木)

開場 14時30分

開演 15時

場所 ホテル アイボリー (豊中)

講師 森本 敏

拓殖大学特任教授

「東アジア情勢変化と日本の政治外交」

受講整理券 ¥1,000,-

(受講整理券はベルウッド、国際交流の会とよなか、ホテル・アイボリーにでも取り扱って頂いております)

主催: NPO法人 リタイアメント情報センター 090-1896-4575

## 森本敏さんの思い出

今から半世紀も前の豊中高校で3年E組の生徒森本敏君が防衛大学への受験を決意するに至った経緯を語ってくれたことがあります。多分担任教師を前にしての進路相談みたいなものだったのでしょうか。けれど愛国の至情を胸に将来の自衛隊のために何とか貢献したいという使命感のようなものが、純真な心意気と共に感じました。

「森本防衛大臣実現」という歴史の原点をたどりました。<豊中高校の恩師 藤上幸作先生>

## 森本敏さんの思い出

高校時代の彼は、明るい性格で議論好きだった。「家が裕福でないので、日本で唯一給料がもらえる大学を狙うんだ」とよくいっていた。そしてその通り防衛大学に進学した。大学時代は軍服に短剣をつけて颯爽とあらわれた。弊衣破帽の一般学生とは、一線を画して既に大人の風格を備えていた。制服姿の彼と飲んでいて酔っ払いに「右翼と左翼が一緒に飲むのか」とからまれたこともある。外務省に入って早くから頭角を現し、安全保障では日本の第一人者となり、民間出身の防衛大臣にまで登りつめたのも記憶に新しい。また誰にでも好かれるタレント性は生まれつきのもものだろう。5年程前、私の関係する大学の講義をお願いしたが、どうしても森本先生の顔がみたいという学生が多く定員の3倍を超える参加者となり驚いた。彼の言動は誠実そのもので、論旨が明確でブレないことが人気の秘密の一つである。英語の褒め言葉を借りると「マンオブインテグリティ」(終始一貫している男)とでもいうのかもしれない。今後ともコンフリクトマネジメントのリーダーとして日本の未来を創造して欲しい。今回は特に激動する東アジアに焦点をあわせた議論ができそうで、どんな新しい仮説と検証が出てくるか今からわくわくしている。<豊中高校同級生 麻殖生健治さん(元立命館大学教授)>